

FB通信

うつのみや



②7 -2023/4/25- //2019年1月15日創刊//

認定NPO法人フードバンクうつのみや
栃木県宇都宮市埴田 2-5-1 共生ビル1階
TEL 028-348-3412
URL <https://fbu2189.org>
FAX 028-623-6036



649世帯、2304回の個人支援は過去最多。長引く困窮状態。

●数で見る実績 (2022年度)

食品の受贈量

集まった食品量 **38.5トン**

配った食品量 **39.8トン**



食品支援人数・回数

3,166回

- ・個人 2304回 (649世帯)
- ・子ども食堂や福祉施設を通じた支援 555回
- ・食品配布会での支援 307回



みなさまからのご支援

・会員 **200人**

・ボランティア

のべ**1,058人** (3258時間)

・集まった寄付金 **545万円**

みなさまのご支援のおかげで、2022年度も無事活動できました！



徳山 篤
(FB うつのみや・理事長)

フードバンクは「助け合い。ありがとうの輪」ですかね。



◆働いても生活できない。

制度のはざまの人々

本会は相談支援付きFBを運営しています。日々15人前後もの相談を受けています。その中には、食品や現状の制度だけでは助けられない人がいます。

例えば、働いているが生活できない「ワーキングプア」の状態にある人です。雇用形態は、パートや日給がほとんど。業種は、小売業、サービス業、建設作業員や警備会社で働いている人が多いです。時期によって仕事が少ないと出勤日数が減ってしまい、突然「明日の生活費がない」という事態に陥ってしまうのです。しかし、仕事がある期間はギリギリながらも生活できるので、生活保護を受けられません。

FBを利用するきっかけは「食品がない」ことでも、障がい、病気、怪我、外国ルーツ、高齢者低年金、不安定な雇用、ひきこもり、機能不全家族など…、その背景には様々な課題が絡み合っています。

◆みなさまのご支援が必要です

誰もが安心して生活ができる社会に向けて、今年度はより多くの仲間をつくり、行政と対話しながら、活動できればと思います。今後も右肩上がりが予想される相談に対応するため、より多くの人からの食品や寄付金、ボランティアという応援が必要となります。みなさまのご支援をお待ちしています。(徳山)

認定NPO法人になりました

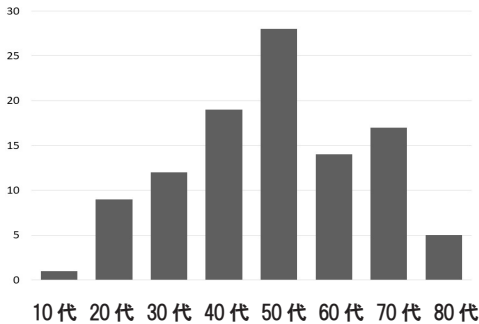
今年の3月1日に認定NPO法人となりました。認定NPO法人に寄付していただくと、確定申告をすれば、税制優遇を受けられます。所得税や住民税から寄付した金額から約40%が還付されることとなります。

今月のSOS

2月 151世帯（支援 198回）

3月 196世帯（支援 294回）

FB 年代別 (2023/2-3)新規利用 105人



この数字、やばい 求む、食品・ボランティア

＜考えられる原因＞・長引くコロナ禍での収入減から快復しないまま、物価・光熱費高騰が生活を直撃しているのでは？・年金世代（特に70代以上）は、収入額が変わらないのに支出が増大。低年金の場合、努力だけではやりくりが難しいだろう。・女性の利用も増加。子育てで孤立しているような世帯も。

今月のSOS の一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して抜粋掲載。

2/2 ●男 40代・県外。 塗装業を営んでいたが、事業に失敗し借金だけが残った。**家族6人**で隣県から**車中泊**をしながら逃げてきた。これから生活保護を受けて宇都宮に住みたいと思っている。⇒食品 9kg 支援。

2/4 ●男 60代・宇都宮市内。 **親子3人**ともに**知的障害**。夫婦で障害年金とB型就労などで月収22万円になるが、年金支給日までお金がもたない。⇒食品 6kg 支援。

2/9 ●男 50代・宇都宮市内。 昨年5月に**会社を解雇**され、その後派遣で働いたが長く続けられなかった。今は、貯蓄を取り崩して生活している。1月に雇用保険基本手当の手続きをし、4月には支給される。それまでの食品が欲しい。⇒米 5kg 食品 8kg 支援。

2/9 ●男 70代・宇都宮市内。 70代の兄弟2人暮らし。これまで親の遺産で生活してきたが底をついた。収入は弟の**年金しかなく**困窮。生活保護の申請をしてきた。⇒米 3kg 食品 6kg 野菜 1kg 支援。

2/21 ●女 30代・宇都宮市内。 5年前に離婚し**シングルマザー**に。小・中学生の子どもと4人暮らし。夫から養育費はもらえていない。先月は飲食店のパートで収入4万円しかなかった。今までは社会福祉協議会のコロナ関係の給付金でつないできた。⇒米 20kg 食品 15kg 支援。

3/2 ●女 40代・宇都宮市内。 小中高生の子3人と4人暮らし。**離婚し、子どもの進学**に合わせて転居したが、費用がかさんで食品を購入するお金がなくなってしまった。⇒米 10kg 食品 16kg 野菜 3kg 菓子 2kg 支援。

3/14 ●男 60代・宇都宮市内。 持家に住んでいるが、定職がなく困窮。家が森のようになり、居住確認ができず、市の職権消除で**住民票も身分証も持っていない**。地域包括支援センターの支援により生活保護の申請をしたが、所持金は30円しかなく食品が買えない。⇒食品 10kg 支援。

3/17 ●男 70代・宇都宮市内。 夫婦と、**成人した長男と次女**との4人暮らし。子2人はアルバイトをしているが、生活費を家に入れてくれない。年金月10万円で生

活費をまかなくなってきたが、電気代が高く食費がなくなった。⇒米 6kg 食品 5kg 支援。



3/17 ●女 50代・宇都宮市内。 長女、次女（離婚したが妊娠中で5月出産予定）、三女、孫（次女の娘）の5人で暮らしている。自分是不眠と腰痛で働くことができず、長女と三女の派遣収入だけで生活している。家賃の滞納もあり、次女の**出産も近く**金銭的な不安が大きい。⇒米 12kg 食品 15kg 支援。

3/22 ●男 20代・宇都宮市内。 数年前から葬儀社で勤務しているが、コロナ禍で**仕事が激減**し収入が減ってしまった。さらに昨年12月にコロナに罹患してしまい、その時に蓄えを使い果たしてしまい困窮。困窮者自立支援制度の窓口相談に行きFBで紹介された。⇒食品 5kg 米 3kg 支援。

■ 75歳母と娘2人仲よし家族

今回も本人と家族を支えることで困窮を解決していくお話です。脇しず子(仮名・75歳)さんは、宇都宮市内の市営住宅に次女のかよ子(仮名・48歳)さんと住んでいる。市内に長女のえみ子(仮名・50歳)さんが一人で暮らしている。要介護2のしず子さ

んは4つのクリニックへ通い、普段は「小規模多機能型居宅介護(=小多機)」のデイサービスを主に利用している。亡夫の遺族厚生年金と次女の障害年金(合わせて16万円程/月)で暮らしている。別居の長女は生活保護を利用し、精神科の治療通院中である。2人の娘が普段の買い物もしてくれるくらい、仲のよい家族とみられていた家族だった。

■ 年金計16万円あるはずが…「食費ない」

3月下旬のある日、しず子さんが利用する小多機の管理者よりFBに電話があった。「4月の年金が振込まれるまでの食費が手元にない」とのこと。取り急ぎ、食品の提供をFBから行ない、お金の使い方を明らかにしようと言った。そのために母



小澤勇治●本会職員

SOSの途中

地域で家族を支える

脇 しず子さん(仮名・75歳)

■ 長女の年金使い込み判明

情報共有したところ、長女えみ子さんが「結果的に」金銭的搾取をしていたことが判明した。しず子さんの通帳を預かり買い物をしていたが、ちよくちよく使い込んでしまったらしい。しず子さんにも借金があり少しずつ返済を行ってきた事も分かってきた。家族の計画的な金銭管理と医療・介護・福祉サービスの円滑な利用のために、成年後見制度を早急に申立しようということになった。

宇都宮市でも「どこに相談したら分からない」「同時に複数の困りごとがある」などの相談窓口を4月から設けている。その名も「共生型の相談窓口『エールU』」。利用して頂きたいと思う。



ボランティアのつぶやき

大学では学べない、困窮者のリアル

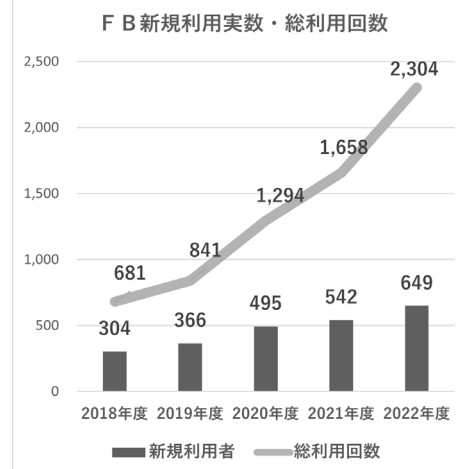
舘野 莉奈さん(大学生)

大学1年のとき、学生自身で取材対象を決め、新聞記事を作成する講義があり、FBうつのみやを取材しました。取材の中でFBに訪れる生活困窮者が数多くいることを伺い、自分が社会の現実を全く知らないことに気が付きました。それがきっかけでボランティアに携わるようになりました。

まだ始めたばかりですが、相談支援ボランティアを重ねることで、訪れる人がどのような背景でFBを利用するに至るのかを聞き、大学で学んでいることだけでは感じることはできない体験が来ています。この経験を大学生生活に生かしていきたいです。

2022年度のフードバンク利用回数…

前年比 1.4倍



2018年度～2022年度のFB新規利用実数・総利用回数(個人)を表したグラフです。2022年度の総利用回数は2304回。新規利用者は649人。どちらも過去最多でした。特に複数利用者、つまり短期間のFB利用では生活が立ち直れない人が多いです。

外国ルーツの家族をまるごと支援するフードバンク設立。

FB うつのみやから米を提供し、449人に食品支援

栃木県真岡市を中心に活動するNPO 法人希望のタネ。2022年10月に設立されたこの団体は①「フードバンクさくらんぼ」の運営、②外国籍の子どもの言語・文化サポート、③外国籍の子どもがいる家族への通訳・翻訳・手続きのサポート、などの活動をしている。

12月、1月、3月に行った食品配布会では449人に食品を提供。FBうつのみやからは、計1.5トンのお米を提供した。第2回配布会には200人を超える人が来場し、アンケートでは、出身国がペルー71人、フィリピン70人、日本25人、ブラジル24人、コロンビア、ニカラグア…と続く。

食品配布だけでなく、生活状況の聞き取りも行ったそう。見えた課題は、生活習慣病や病気の在留外国人が多いこと。**糖尿病、がん、心臓病、精神疾患**…。まず貧困のため病院に行くお金がない。次に、病院へかかっても医師の言っていることが理解できず、生活習慣などの治療ができないという。

また、日本語が話せない日本の文化が分からないことにより、小学校などでいじめられ、**不登校**になってしまう子どももいる。子や家庭が孤立せず生活に溶け込んでいくための支援も実施予定だという。



たとえ文化も言語も何もかも違う日本だとしても、自国で働くよりは安心して安全だという。日本の工場はペルーよりは稼ぐことができるし、なによりも治安が良く、社会保障制度も整っている。私たち日本人は、日本に住んでいるからこそ生活水準の高さに気付けません。

今後も国籍に関わらず「地域の皆さんの希望のタネ」になれるよう、活動を続けていこう。 (文責:宮坂)

希望のタネの

HPはこちら→



【急募】食品が底をつきそうです。缶詰1つから、ご協力お願いします



◆募集中の食品

- 例)お米、缶詰、レトルト食品、乾麺、調味料
- ・賞味期限が1か月以上あるもの
- ・包装が破れたり、汚れたりしていないもの
- ・常温保存できるもの

◆寄贈の方法

- ①事務所に持込(埴田事務所・泉が丘支所)
 - ②郵送(送料はご負担願います)
 - ③県内設置のきずなBOXに入れる
- ◆お問合せ 028-622-0021

福田屋百貨店

フードドライブ 食品・ボランティア募集!

- ・日時 5/14(日)10~16時
 - ・場所 FKD ショッピングモール宇都宮
インターパーク店(フードコート周辺)
- ご協力お願いします!**

会員・寄付者 ありがとうございます♡



「もったいない」を
「ありがとう」に。
会員を大募集中!
ボランティアも!

◆会費(年間)

- ◎正会員 12,000円
- ◎賛助会員 3,000円
- ◎団体会員 30,000円
- ◎学生サポーター 1,000円

3/31現在:正会員67人、賛助158人、団体15、学生2)

《2~3月の新規・継続会員》※敬称略

■正会員/ 矢野正広 小澤勇治 軽部憲彦 矢吹拓 伊東由晃

■賛助会員/ 石井有佳子 西根美香 小澤美江 高崎至子 平尾洋子

荒木光子 NPO法人のぞみ会 田村紀子 宮村尚 小野健市 小野奈緒美

矢野浩美 齋藤幸子 伊藤広道 松本広子 毛木宏美 池田裕介 関山真由美

廣澤敬行 荻津守 武井大 他2名

《2~3月の寄付者》※敬称略

小林香織 高崎至子 (株)八洋フーズ 宇都宮ロータリークラブ 恵光寺

鈴木登 (有)金谷新聞店 小林茂之 カルビー(株) 宇都宮綾 他5名

会費・寄付はこちら ※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行

栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399

名義/ 特定非営利活動法人フードバンクうつのみや 理事徳山篤

※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局

宇都宮 00260-2-90882

特定非営利活動法人フードバンクうつのみや

■WEBサイトから

クレジットカードでのご寄付もできます。



HP



IWI LLLer